

企業倫理		教授 安藤 鋭也	
科目カテゴリー	経営・経済コースの専門選択科目	科目ナンバリング	23102203

1. 授業のねらい・概要

企業倫理とは、企業活動において遵守しなければならない重要な規範です。企業の目的は、契約に基づく利益追求です。昨今報道などで頻繁に取り上げられるコンプライアンス事案を見ても分かる通り、企業倫理は、株主・投資家・債権者・取引先といった様々な利害関係者や企業を取り巻く社会・環境へ影響を与えます。そのため企業活動は、常に高い倫理感をもってなされなければなりません。

本講義では、企業倫理とは何か、企業経営における倫理観の重要性を様々な視点から説明します。また実際の企業不祥事について、原因や背景にもふれながら丁寧に解説します。その上で、企業の対応方法を理解できるようになることがねらいです。

2. 授業の進め方

授業はテキストに沿って進めます。企業不祥事の解説では別途資料を準備します。

3. 授業計画

1. ガイダンスー企業と倫理ー	8. ここまでのまとめ及び中間試験
2. 企業の倫理リスクとマネジメントとは	9. 企業における不正
3. 倫理リスクは経営にどのような影響を与えるのか	10. 企業不祥事(1)エンロン・ワールドコム@アメリカ
4. なぜ倫理リスクは生じるのか	11. 企業不祥事(2)スルガ銀行・東芝・日産@日本
5. 倫理リスクの効果的マネジメント	12. 企業不祥事(3)原因・影響
6. 倫理リスクマネジメントと企業の持続的成長、復元力との関係	13. 企業の対応(1)倫理担当者
7. 倫理力、持続力、復元力を上げるソフト・リスクマネジメント策	14. 企業の対応(2)経営者
	15. 全体のまとめ及び期末試験

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回の講義を受講するまでに、前回の内容をテキストや資料で復習して下さい。準備学修では色々な想像力を働かせることが大切です。正解は必ずしも1つとは限りませんから30分程度の時間は必要です。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

中間試験と期末試験は試験実施の際、ポイントや出題意図を（試験）終了直後に解説します。

6. 授業における学修の到達目標

企業倫理の基礎知識を修得した上で、実際の企業経営における倫理観の重要性を理解することが目標です。

7. 成績評価の方法・基準

平常点（30%）、中間試験（30%）、期末試験（40%）の割合で総合的に評価します。

8. テキスト・参考文献

上田和勇著『企業倫理リスクのマネジメント』同文館出版、2014年、定価：2,300円＋税。企業不祥事の解説では別途資料を準備します。

9. 受講上の留意事項

企業倫理がアカデミックな分野で取り上げられるようになったのは、1980年代に入ってからです。2000年以降に

な

ると、アメリカや日本で大企業の不祥事が相次ぎ社会的な関心も高まりました。そのため企業倫理を学ぶことは、将来必ず役に立つと思います。明るく楽しく企業倫理を勉強しましょう！